若年層の性被害

近年、**若年層に対する性的な暴力に係る問題は深刻な状況**にあります。このような10代から20代の若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その未熟さに付け込んだ重大な人権侵害です。

特に年度当初は、進学・就職等に伴い若者の生活環境が大きく変わる時期であり、こうした被害に遭うリスクが高まることが予想されることから、**4月を「若年層の性暴力被害防止月間」**と位置づけ、関係府省が連携し政府一体となって必要な取り組みが集中的に実施されています。

AV出演被害

親切なふりをして近づいたり、アイドルになりたい心情を利用するなどのAV出演被害が起きています。

被害事例

- SNSで知り合った人に「お金がない」と送ったら「いいバイトがあるよ」と返事があり、行ってみたらAVの撮影だった。
- アイドルのオーディションに行くと、すぐ「仕事が決まったよ」と言われたが、その仕事はAVの撮影だった。



AV出演被害防止・救済法によって、AV出演契約を取り消したり、販売や配信を停止することができます。

JKビジネス

女子高校生等による接客サービスを売り物とする「JKビジネス」をきっかけに、客から性的な被害を受けるケースが発生しています。

被害事例

- SNSで「お客様とおしゃべりするだけ」というバイト募集広告を見て面接に行くと、店長に服を脱ぐように言われ、写真を撮られたり、性行為を強要された。
- 街で「カフェで働きながらアイドル目指しませんか」と書かれたチラシを渡された。働くようになってから客に身体を触られたが、店長から「ファン増やそうね」と言われていたので「やめて」と言えなかった。



「JKビジネス」は手軽なアルバイトではなく、危険なアルバイトです。絶対に働いてはダメ！

レイプドラッグ（薬物混入）

睡眠薬などのクスリを飲み物等に混ぜて、相手を抵抗できない状況にしてセックスをするなどという性被害が起きています。

被害事例

- お酒を断れず飲んでいたら眠くなり、起きたら胸や下半身を触られていた。
- 飲み物を飲んだら急に眠くなって気を失った。気づいたらセックスの最中だった。



「何かおかしい」「いつもと違う」と思ったら、すぐ相談を！

SNS利用での性被害

SNSで知り合った人からの自画撮り要求による画像流出被害が増加しています。

被害事例

- SNSで仲良くなった人から頼まれて、顔写真や下着姿、裸の写真を送ったところ、その写真がネット上で拡散された。



ネット上に一度流出した写真は、削除することは困難です。相手から写真を求められても応じる必要はありません！

もし性的被害にあったら

被害から**72時間以内**であれば、緊急避妊薬を服用することにより、ほとんどの場合、望まない妊娠を防ぐことができます。**性暴力被害者のためのワンストップ支援センター（#8891）**に電話しましょう。

